

# 福岡県農業大学校 平成30年度外部評価実績

2019/3/14

評価テーマ	福岡県農業を担う人材づくり
重点目標	自営就農、県内農業法人への就農
目 標	卒業生・修了生の就農者割合 70%
実 績	就農者割合63%(達成度90%) 養成科48%(達成度69%) 研修科100%(達成度143%)

	30年度取組計画	H30 目標値	30年度取組実績	H30 実績値	達成 度 (%)
養成科	○就農を目指す学生の受験機会の拡大 ・推薦入学試験について、雇用就農希望者も対象 ・一般入学試験について、B日程を実施	雇用就農希望 推薦者数10名  2回 (A:12月、B:3月)	○就農を目指す学生の受験機会の拡大 ・推薦入学 受験者 16/23名 ・12/7 27名 3/14 5名	雇用就農希望 推薦者数16名  2回 (A:12月、B:3月)	160  100
	○就農につながるカリキュラムの充実 ・新規にGAPを1講義15時間  ・農機整備演習にほ場耕起を追加 ・校外視察研修の研修先を農大OBとする	1講義15時間  ほ場耕起4時間  1講義28時間	○就農につながるカリキュラムの充実 ・生産工程管理を講義化 1年後期 グローバルGAPの学習、視察、演習 ・イチゴでGGAP取得取組実施 1/31審査 ・農大ほ場でクボタによる実技演習 ・各コースで実施 11/15回  野菜:寺島氏、行武氏、塩塚氏 花き:川口氏、花田氏 果樹:井上氏、松木氏 水田:松崎氏 畜産:藤井氏 総合:鶴田氏、富士本・杉本氏	1講義15時間  ほ場耕起2時間  1講義 28時間	100  50 73
	・農産物の直売所販売を拡充	販売回数52回		販売回数 56回	108
	○雇用就農につながるスキルアップ ・就職希望学生に将来設計ゼミとして講義を拡充	1演習20時間	○雇用就農につながるスキルアップ ・将来設計ゼミ ハローワークによる職業興味検査、自己分析、マ ナーセミナー、模擬面接等	1演習20時間	100
	○雇用就農機会の拡充 ・就農相談会への参加  ・県内インターンシップ受入農業法人のリスト化	参加者数10名  受入法人数20 件	○雇用就農機会の拡充 ・1/12 福岡市 県主催 1年:2名 2年:5名 ・求人管理簿に受入可否を掲載	参加者数 7名  受入法人数13 件	70  65
	○就農をめざす農業高校生を確保(FAR夢プラン) ・若手農業者等の先進地研修と意見交換会を開催	参加者数 2回、90名	○就農をめざす農業高校生を確保(FAR夢プラン) ① 7/6 降中止(農大体験、意見交換 70名) ② 7/11 JAあさくら選果場、OB2農家(筑前町、小 郡市)	参加者数 1回、24名	50
	○就農をめざし、学校外部との連携強化 ・農福連携で、福祉施設職員と障がい者への農業体験 を実施  ・JAちくし等との連携協定の締結	参加者数 4回、40名  協定締結数1件	○就農をめざし、学校外部との連携強化 ・6月～2月まで月1回農業体験を実施  概ね第3木曜日に、野菜・花・果樹の栽培管理、 収穫調整等 ・11/13 JAちくし、JA筑前あさくらと締結	参加者数 8回、88名  協定締結数2件	200  200
	研修科	○福岡地区、北九州地区の就農相談会への参加 ・後継人材育成室主催の相談会に参加	参加者数  140名	○福岡地区、北九州地区の就農相談会への参加 ・9月京築普及センター主催の相談会、10月推進機 構主催の相談会、1月後継人材育成室主催の相談 会に参加	参加者数  140名
○先進農家研修の充実 ・就農につながる研修を実施		研修者  20名	○先進農家研修の充実 ・北筑前普及センター以外の9か所の普及センター で実施	研修者  18名	90
○普及センター及びOBとの連携強化 ・就農にあたって普及センター、OBへの相談		相談  延べ30名	○普及センター及びOBとの連携強化 ・就農にあたって普及センター、OBへの相談	相談  延べ36名	120
○入校希望者に対する個別相談 ・普及指導センターからの情報 ・推進機構からの情報		20件  10件	○入校希望者に対する個別相談 ・普及指導センターからの情報 ・推進機構からの情報	18件  7件	90 70